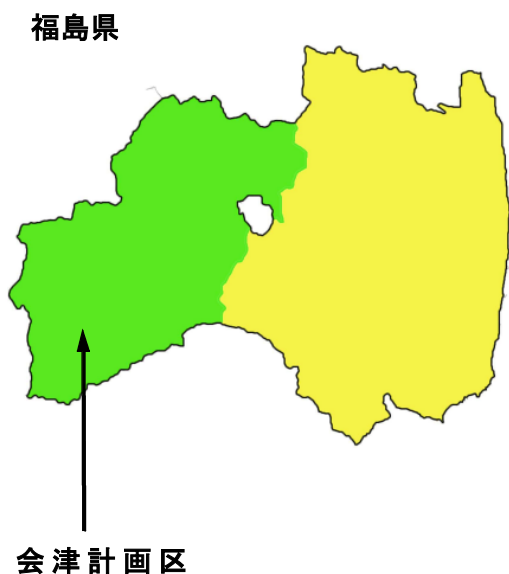


平成23年度に樹立・策定する会津計画区の概要

1 現行計画の概要



燧ヶ岳山頂から尾瀬沼（檜枝岐村）



(1) 森林計画の概要

ア 位置

当計画区は福島県西部に位置し、会津若松市、喜多方市、南会津郡、耶麻郡、河沼郡、大沼郡にある国有林野205千haを対象。

イ 国有林の特徴

- ・喜多方地区
スギを主体とする丘陵地と、植生自然度の高い山岳部。
- ・若松地区
猪苗代湖、檜原湖、磐梯山、吾妻連峰等の優れた自然景観。
- ・坂下地区
自然探勝や森林浴など、森林レクリエーションのフィールド。
- ・只見川本流地区
スギ・カラマツ人工林のほかは、大部分がブナを主体とする天然林。
- ・伊南川・檜枝岐地区
尾瀬国立公園に指定される貴重な森林の保護と、森林学習や森林浴など森林レクリエーションのフィールド。

ウ 森林資源の状況

- ・天然林が約149千ha、人工林が約28千ha、その他岩礫地や湿地などが約28千ha。
- ・人工林のうち、約9割が間伐期（21年生～55年生）。
- ・大半を保護林又は緑の回廊に指定。

エ 機能類型別面積

水土保持林が約95千ha、森林と人との共生林が約109千ha、資源の循環利用林が約1千ha。

(2) 現行計画の概要

ア 保護林及び緑の回廊

保護林	10箇所	93,959 ha
緑の回廊	1箇所	105,434 ha

イ レクリエーションの森

自然休養林	1箇所	500 ha
自然観察教育林	6箇所	638 ha
森林ｽﾎﾟｰﾂ林	3箇所	258 ha
野外ｽﾎﾟｰﾂ地域	9箇所	2,073 ha
風景林	5箇所	429 ha
風致探勝林	5箇所	256 ha
その他	25箇所	4 ha

ウ 国民参加の森づくり

ふれあいの森	79 ha
遊々の森	353 ha

エ 伐採・保育事業量

主伐	42,256 m ³
間伐	162,007 m ³
造林	82 ha
下刈	298 ha
つる切	82 ha
除伐	324 ha

オ 林道の事業量

林道開設	5路線	8,590 m
林道改良	109路線	10,210 m

カ 治山の事業量

溪間工・山腹工	84箇所
保安林整備	416 ha



会津東山自然休養林



雄国沼湿原植物群落保護林

2 次期計画の基本的な考え方

次期計画では、国土の保全、水源のかん養のほか、国民の皆さんからの期待が高い地球温暖化の防止や生物多様性の保全などにも取り組んでいく考えです。

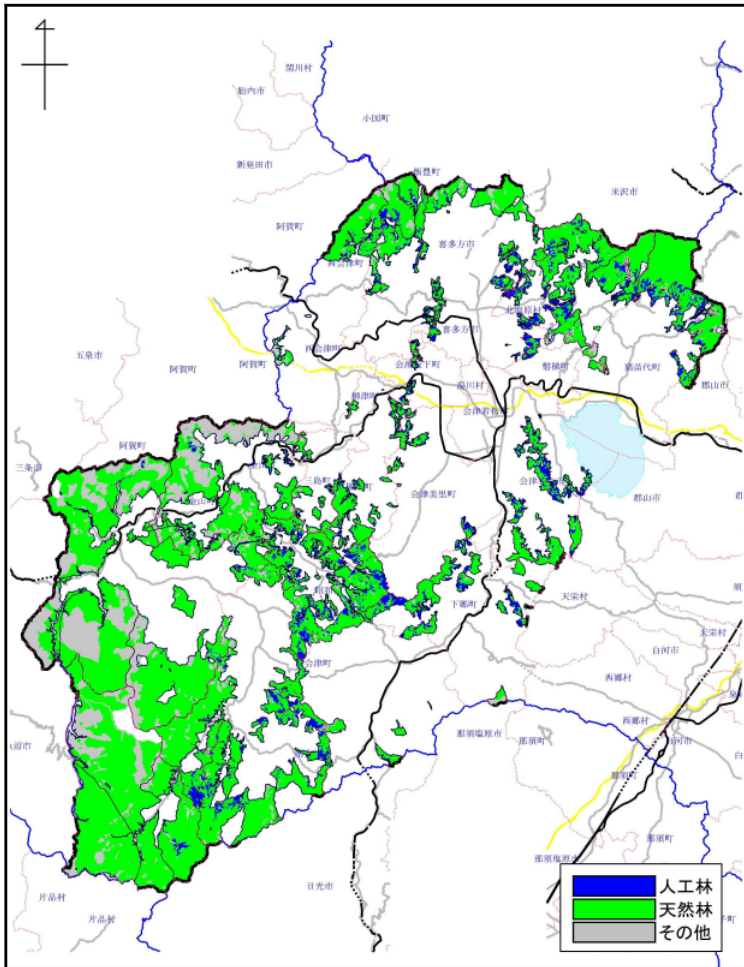
- (1) 地球温暖化防止のための森林吸収源対策やそれ以外の公益的機能の発揮のため、間伐などの森林整備を推進。
- (2) 保護林などでモニタリング調査を実施し、今後の保護林などの設定や取扱いに反映。
- (3) 希少野生生物の保護対策を推進。
- (4) ボランティア団体などによる森林づくりへの支援。
- (5) 治山事業により荒廃地の復旧整備や保安林の整備を計画的に推進。
- (6) 路網と高機能林業機械を組み合わせた低コスト・効率的な作業の普及。

市町村別森林面積等

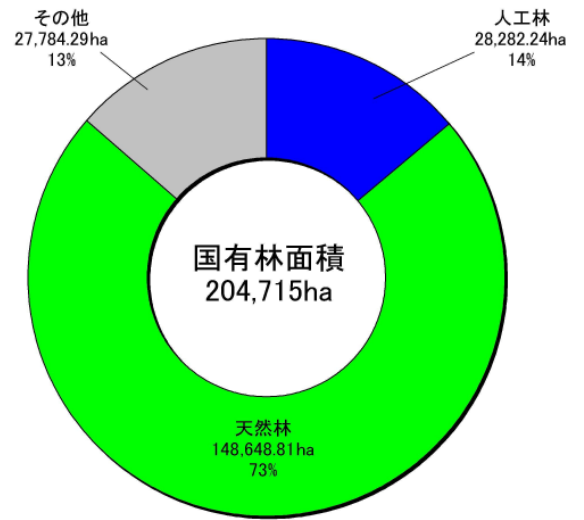
市町村名	市町村面積 (ha)	森林面積 (ha)	うち国有林 (ha)	森林率 (%)	国有林率 (%)
会津若松市	38,303	20,726	5,704	54	28
喜多方市	55,467	38,204	14,320	69	37
下郷町	31,709	27,407	6,089	86	22
檜枝岐村	39,050	38,155	36,365	98	95
只見町	74,753	70,199	49,157	94	70
南会津町	88,652	80,870	24,824	91	31
北塩原村	23,394	19,983	13,629	85	68
西会津町	29,813	25,495	5,065	86	20
磐梯町	5,969	3,825	428	64	11
猪苗代町	39,500	26,903	11,029	68	41
会津坂下町	9,165	3,046	590	33	19
湯川村	1,636	-	-	-	-
柳津町	17,607	15,241	3,562	87	23
三島町	9,083	7,981	1,468	88	18
金山町	29,397	26,792	16,816	91	63
昭和村	20,934	19,215	14,525	92	76
会津美里町	27,637	20,222	1,144	73	6
計	542,069	444,264	204,715	82	46

人工林・天然林

人工林・天然林の分布状況

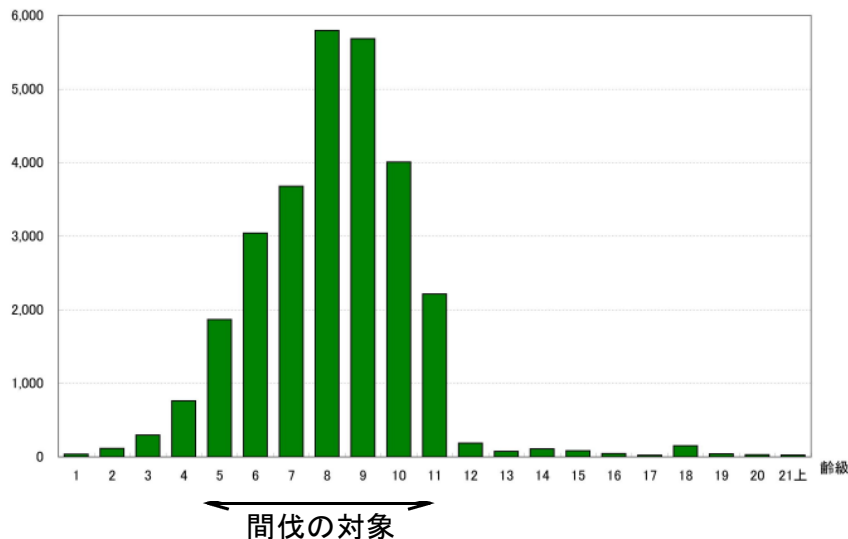


人工林・天然林別割合



人工林の齢級別面積

人工林面積 (ha)



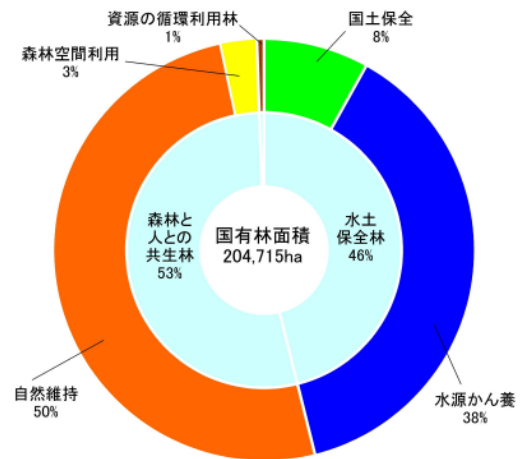
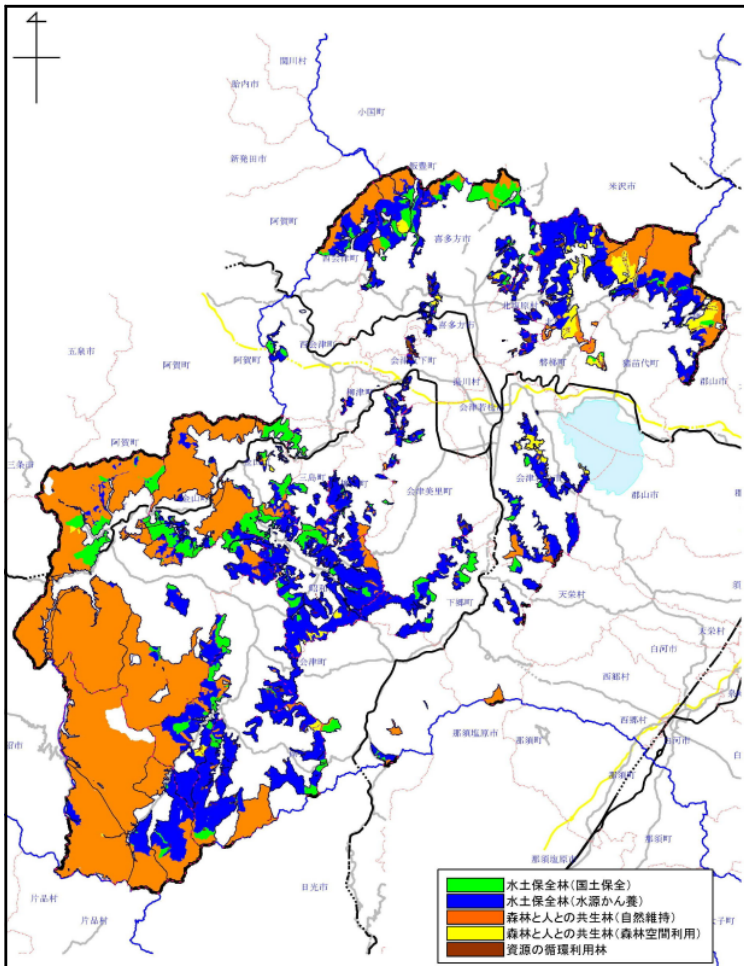
人工林の齢級別では5齢級（21年生）～11齢級（55年生）が多く、間伐適期となる森林が多いことから、計画的な間伐を実施する必要があります。

機能類型

機能類型区分について

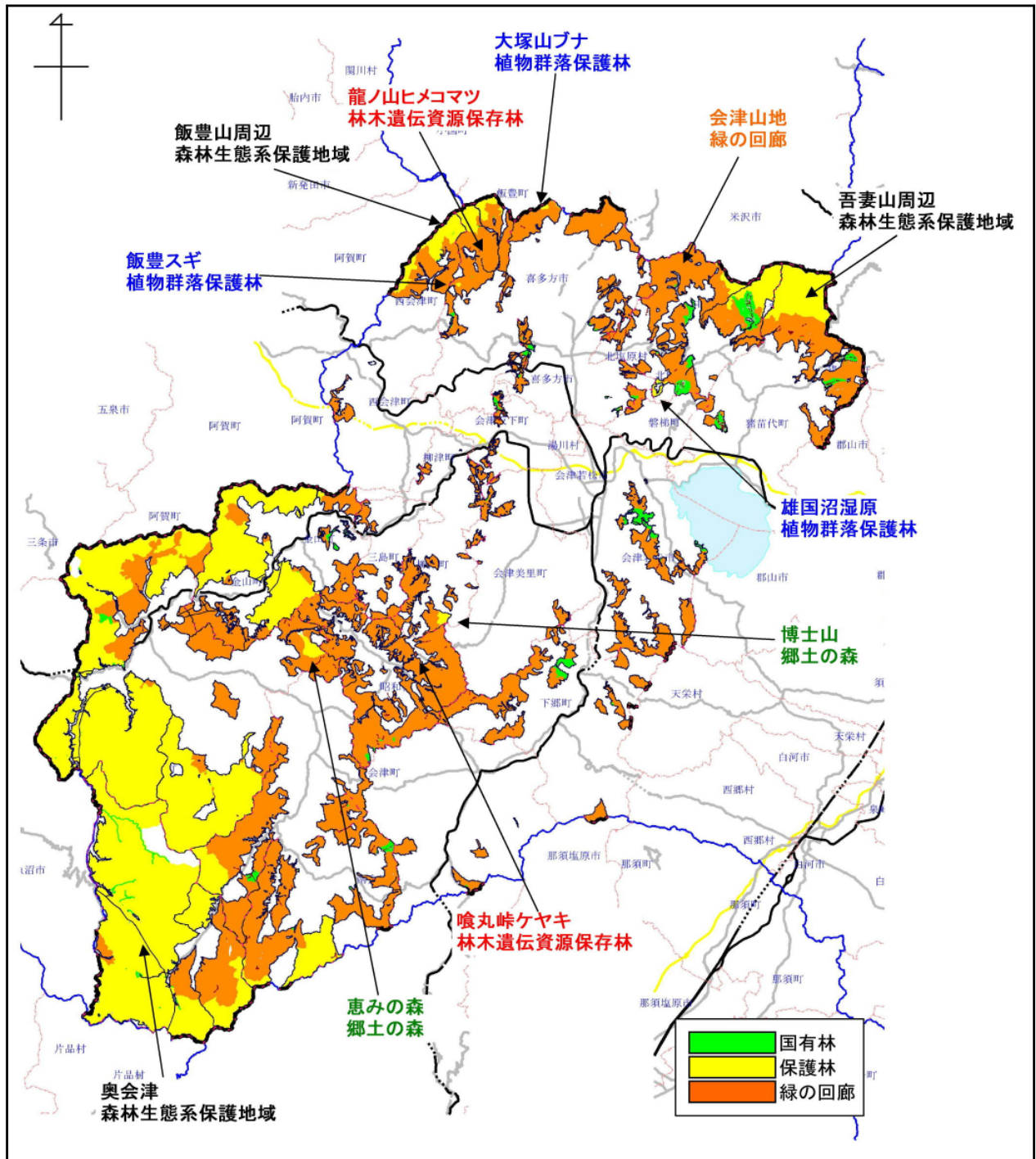
国有林を水土保持林、森林と人との共生林、資源の循環利用林に区分しそれぞれの機能類型にふさわしい管理経営を推進。

水土保持林 (国土保全タイプ・水源かん養タイプ)	森林と人との共生林 (自然維持タイプ・森林空間利用タイプ)	資源の循環利用林
目標とする森林の姿		
土砂流出・崩壊の防備、水源のかん養等安全で快適な国民生活を確保することを重視する森林	原生的な森林生態系等貴重な自然環境の保全や、国民と自然のふれあいの場としての利用を重視する森林	環境に対する負荷が少なく、再生産が可能な素材である木材の効率的な生産を行うことを重視する森林
森林の取扱い		
樹根や表土の保全、下層植生の発達が期待される育成複層林施業、長伐期施業等を推進	野生動植物の生息・生育する森林の保護・整備、森林浴や自然観察等保健・文化・教育的な活動の場の整備、自然景観の維持等を推進	森林の健全性を確保しつつ、多様化する木材需給に応じた林木を育成するために適切な更新、保育及び間伐を推進



当計画区の機能類型は、水土保持林46%、(国土保全タイプ8%、水源かん養タイプ38%)、森と人との共生林53%(自然維持タイプ50%、森林空間利用タイプ3%)、資源の循環利用林1%となっています。

保護林・緑の回廊

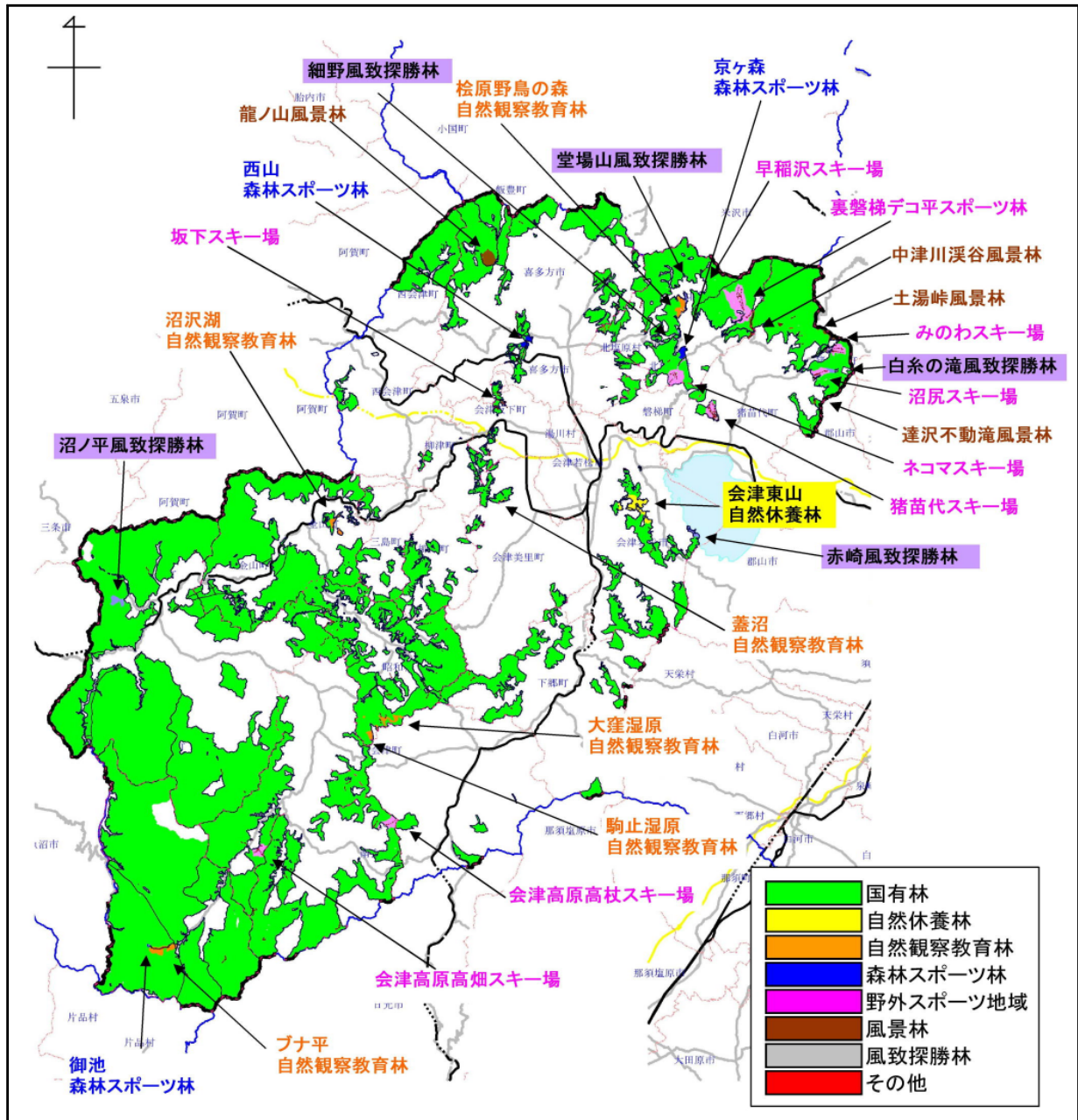


名称	特徴	面積 (ha)
森林生態系保護地域	自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源を保存する	92,909
林木遺伝資源保存林	主として林木の遺伝資源を保存する	12
植物群落保護林	我が国を代表するものとして保護を必要とする植物群落を保護する	364
郷土の森	森林の現状維持など地元より強い要請のある森林を保護し、併せて地域の振興を図る	675
緑の回廊	保護林同士を連結して野生動物の移動経路を確保するとともに生態系の保全を図る	105,434

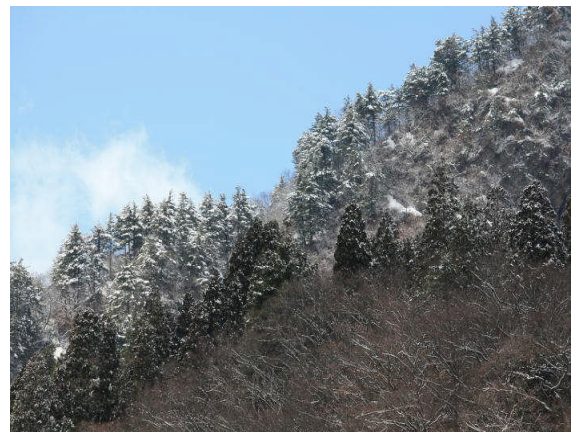


飯豊山周辺森林生態系保護地域 (大滝)

レクリエーションの森概要



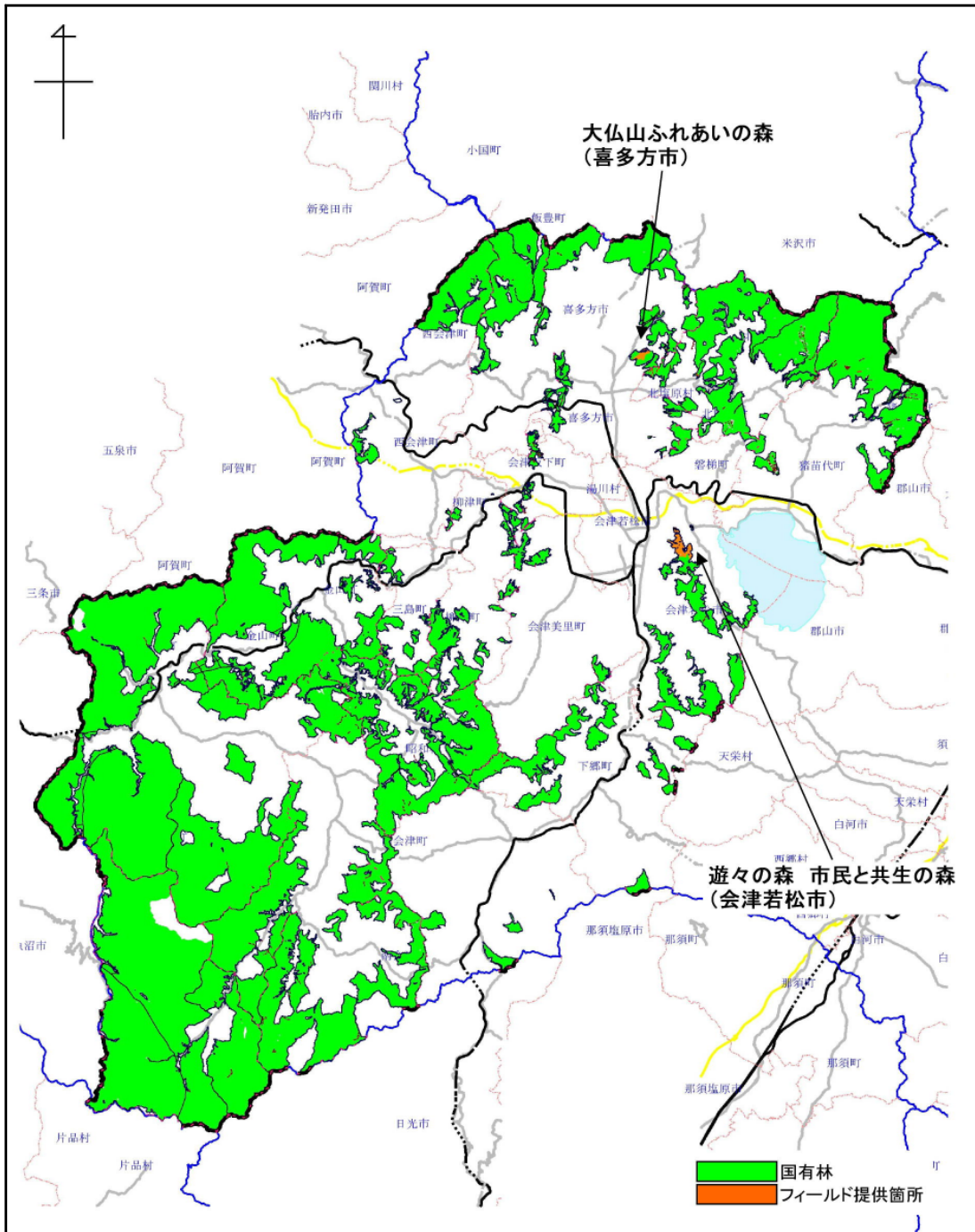
名称	特徴	面積(ha)
自然休養林	人と森林とのふれあいの場としてゾーン分けした地域	500
自然観察教育林	当該地方の特徴的な自然や特異な自然景観等を有し自然科学教育等に適した地域	638
森林スポーツ林	森林を主体とする野外スポーツの場として適した地域	258
野外スポーツ地域	スポーツ施設及び滞在型施設等の設置に適した地域及びその周辺の森林	2,073
風景林	レクリエーション利用上の近景林、遠景林として風致の維持に配慮する必要がある地域	429
風致探勝林	湖沼、溪谷と一体となって優れた自然美を構成している森林等で森林内における休養活動を助長することに適した地域	256
その他	単独でレクリエーションの施設の用に供される地域	4



龍ノ山風景林

国民参加の森づくり

森づくり活動や森林とのふれあいの場として各団体にフィールドの提供を行っています。



ふれあいの森	79ha
遊々の森	353ha



「市民と共生の森」での林業体験と自然散策活動